

ニュースリリース PGJPR20-022
メディア関係者 各位

2020年9月7日
ピアッジオグループジャパン株式会社

aprilia RACING

アプリリアレーシング からトゥオーノ V4 X を限定で発売

レーストラックを最高に楽しむために開発された、221馬力で166kgとパワフルで軽量なハイパーネイキッド。
レーシングテクノロジーから生まれ、MotoGPで得たソリューションを採用して限定生産。



アプリリアレーシングの本拠地であるノアーレから送り出されたスーパースポーツバイクのスペシャルエディションで、RSV4史上最もパワフルで軽量であり、限定生産された10台がたった数時間で完売したAprilia RSV4 Xに続き、ハイパーネイキッドTuono V4の特別バージョンを発表しました。
54の世界タイトル、その内の7つのタイトルをスーパーバイク世界選手権において、ナローV4エンジンで勝ち取っているアプリリアレーシングが直接開発及び組み立てを行い、シリアル番号入りで限定生産される“スーパートゥオーノ”アプリリアトゥオーノ V4 X (テン)をご紹介します。

アプリリアレーシングが丹念に開発したモーターサイクル技術開発用のピアッジグループプラットフォームによって、最も要求の厳しいユーザーにも最高のライディング体験とスリルを提供するアップハンドルレースバイクであるトゥオーノV4 Xが生まれました。

2011年以来、トゥオーノV4がサーキットで最高のハイパーネイキッドとみなされているという事実を考慮すれば、開発中にアプリリアのライダーであるロレンツォ・サヴァドーリがイモラサーキットで1ラップ1'50"というタイムをたたき出したトゥオーノV4Xの性能がどれほどのものかご想像いただけたと思います。

「これは私がライディングした中で最も楽しいバイクだね。快適性と性能を両立させている点がユニークですね。信じられないほど優れたエンジンはエキスパートでもビギナーでも簡単にコントロールできるし、空気力学に配慮したデザインによってハイパーネイキッドとは思えない安定感があるよね。トゥオーノV4Xは再び新しい基準を打ち立てたと思いますよ。」

トゥオーノV4 X が提供する性能とスリルは、オーストリアのレッドブルリンクでテスト走行を行ったアプリリアレーシングチームMotoGP ライダーであるアレシ・エスパルガロをも熱狂させました。

「トゥオーノV4Xはこの世の物とは思えないね。私はハイハンドルバイクのテスト走行をサーキットで行ったことはなかったけど、その安定感には驚いたね。エンジンは信じられないほど性能が高いし、シャーシの剛性も素晴らしく、ライディングポジションと電子制御のおかげでとても楽しくライディングできたよ。クリーンなライディングが可能でありながら、ドリフトも可能だし、これは凶暴な一面を持った純粋なスポーツバイクだね！」



ノアーレのレース部門がトップカテゴリーで得た経験がアプリリアトゥオーノ V4 Xの開発に活かされています。このタイプのバイクで初めてとなる、MotoGPでアプリリアRS-GPIに取り付けられたものから着想を得たカーボン製のフロントウイングが導入されました。この選択によってハイスピード時、そして減速及び加速中の高い安定性が実現しました。

この特別なトゥオーノをレーストラック専用のハイハンドルバーレーシングバイクとして開発するという目標は、MotoGP プロトタイプ仕様の仕様に近い乾燥重量166 kgを軽量化技術によって達成されました。

全てのフェアリングはカーボン製であり、2006年の伝説的なフランスの耐久レースに参加したアプリリアRSV 1000 Rファクトリーにインスピレーションを受けた専用の“ポルドール”グラフィックをあしらっていません。燃料タンクはオリジナルと同じ形状ですが、より軽量化されています。もう1つの特別な要素がトゥオーノV4Xのメイン電子制御デバイスの調整を行うためのレースパネルです。クラッチレバー、ブレーキレバーガード、エンジンクランクケースガード、調整可能なフットレスト、そして燃料キャップなど多数のピレットアルミニウム部品によって軽量化を実現しています。レース用スリックタイヤを採用する鍛造マグネシウム製のマルケジーニホイールによって、フェアリングで覆われたスーパースポーツバイクでも実現できないハンドリングという付加価値を提供します。

エンジンはRSV4 1100ファクトリーで成功を収めたユニットが開発しています。アクラポピッチエキゾーストシステムはチタン製マニホールドとカーボン製アウトレットを採用し、エアフィルターは市場で最高の通気性(及び耐水性)を提供し、MotoGP でアプリリアレーシングが使用したものと同一ユニットであるスプリントフィルターを使用しています。

電子制御デバイスの細かなセッティングはECUによって制御され、ロジック、機能の面で刷新されており、アプリリアレーシングが開発したエンジン制御及び車体力学マップを採用しています。エンジンマップは全て「フルパワー」であり、レース用エキゾーストシステム向けに最適化されています。エンジンブレーキ、トラクションコントロール、そしてアンチウィーレベルはサーキットを念頭に置いて設計されています。電子制御シフター(ダウンシフトを含む)そして内蔵GPSセンサーを用いるラップタイム表示機能をプログラミングされたカラーTFT ディスプレイを標準搭載しています。

ノアーレ製V4エンジンの最大出力はファクトリーユニットの217馬力から**221馬力**まで向上しています。

250ccクラスにおいて143のグランプリで18ものタイトルを獲得したチームが開発するフレーム、そしてオーリンズ製のSmart EC 2.0セミアクティブサスペンションシステムによって性能をフルに引き出すことが可能となっています。

ブレンボブレーキシステムもT-Drive技術によって2枚のスチールディスクをグリップし、ビレットアルミニウム製の19x16ラジアルマスターシリンダーによって制御される洗練され、極めて効果的なGP4-MS ビレットアルミニウムキャリパーを使用することで完全なレース対応が可能となっています。

34,900ユーロの価格で販売されるアプリリアトゥオーノV4 Xは、既にアプリリアウェブサイト

https://www.aprilia.com/en_EN/aprilia-tuono-v4-x/からオンラインで予約を開始し、数時間で最初の1ロットである10台を完売したため、新たに追加オーダーの受付を始めました。購入者はアプリリアレーシングから直接商品を受け取ると同時にノアーレのレース部門を特別に見学し、バイクのグラフィックにインスピレーションを得た専用のKYT NX レースヘルメットを入手できます。

トゥオーノV4 Xはアプリリアレーシングが立ち上げたファクトリーワークスプログラムの一環です。これは世界でも類を見ない試みであり、レースの世界で開発された技術をファクトリーチームが参加する選手権への参加を目指す人々やレース用に最適化されたRSV4もしくはトゥオーノV4を望む人々に提供します。



◇報道関係者お問い合わせ先：
ピアaggioグループジャパン株式会社
〒108-0073 東京都港区芝 2-12-10 タカナミビル 1 階
PR マーケティング：河野 僚太 (こうの りょうた)
E-Mail press@piaggio.co.jp
代表電話 03-3454-8880 FAX 03-3454-8868